

3. 授業科目及び履修・登録

【人間文化研究科 応用英語専攻(修士課程)】

(1) 授業科目の履修・登録について

1. 授業科目の区分

- (1) 授業科目は基礎科目、専門科目、演習科目、研究指導科目からなっている。
- (2) 授業科目の構成と本年度開講される科目は、「2024年度開講科目表」のとおりである。

2. 単位制

- (1) 授業科目の履修は単位制によって行われる。各科目の単位は「2024年度開講科目表」のとおりである。
- (2) 半年の場合は、毎週2時間（1コマ）の授業で、講義・演習ともに2単位、研究指導科目は修士論文の合格をもって8単位とする。
- (3) 学年始めに履修科目を登録し、原則として各科目の授業時数の「3分の2以上」出席して成績が60点以上であった場合に単位が認められる。
- (4) 単位の基礎となる授業時間

講時	昼講時・夜講時別	1 コマの時間
1 講時	昼講時	9 : 00～10 : 30
2 講時	昼講時	10 : 45～12 : 15
3 講時	昼講時	13 : 10～14 : 40
4 講時	昼講時	14 : 55～16 : 25
5 講時	昼講時	16 : 35～18 : 05
6 講時	夜講時	18 : 10～19 : 40
7 講時	夜講時	19 : 45～21 : 15

- (5) 試験期間内の時間
試験については別途指示が出される場合がある。
- (6) 授業時間の出席時数
出席時数の最終判断は、科目担当教員が行う。

3. 修了に必要な要件

- (1) 修士課程の修了のためには、大学院に2年以上在学し、32単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

【2018年度以後入学者】

基 礎 科 目 群	単位数	専 門 科 目 群	単位数
応 用 英 語 研 究 方 法 論	2	英 米 文 学 作 品 研 究 c	2
英 語 プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン	2	英 米 文 学 作 品 研 究 d	2
アカデミックリーディング&ライティング	2	英 米 文 学 批 評 理 論	2
専 門 科 目 群	単位数	映 像 芸 術	2
言 語 研 究 デ ザ イ ン と 統 計	2	日 英 語 比 較 分 析 a	2
応 用 言 語 学	2	日 英 語 比 較 分 析 b	2
第 二 言 語 習 得	2	言 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	2
バ イ リ ン ガ リ ズ ム	2	言 語 と 社 会	2
英語教育学特論Ⅰ (Language Pedagogy)	2	演 習 科 目 群	単位数
英語教育学特論Ⅱ (Assessment and Testing)	2	専 門 演 習	2
英語教育学特論Ⅲ (Classroom Research)	2	イ ン タ ー ン シ ッ プ	2
英語教育学特論Ⅳ (Curriculum Design)	2	研 究 指 導 科 目	単位数
早 期 英 語 教 育	2	イ ン デ ィ ペ ン デ ン ト ス タ デ ィ ー ズ	8
英 米 文 学 作 品 研 究 a	2	他 研 究 科 ・ 他 専 攻 科 目	単位数
英 米 文 学 作 品 研 究 b	2	他 研 究 科 ・ 他 専 攻 科 目	2～6

〈履修方法〉

- ① 基礎科目の必修3科目を履修すること。
- ② 専門演習（必修）及びインディペンデントスタディーズ（必修）を履修すること。
- ③ 他研究科・他専攻の科目を6単位まで履修することができる。その単位は修了要件に含まれる。
- ④ 修了までに合計32単位以上を修得し、かつ修士論文審査及び最終試験に合格することが修了要件である。

(2) 研究指導計画

各学年で定められた期間内に、学生は「研究指導計画書」に必要事項を記入し、主指導教員に提出すること。主指導教員によって交付された「研究指導計画書」のコピー5部を学生は定められた期間内に学事課に提出すること。

(3) 学位（修士）論文審査基準

論文審査

1. テーマについて

- (1) テーマは明確に提示できているか。またその意義が説明できているか。
- (2) 研究テーマと関連する先行研究について整理検討がなされているか。
- (3) 先行研究との関連性の検証作業を通じて、論文テーマの意義を明確に説明できているか。
- (4) (3)を踏まえ、独創的な内容を有したものとなっているか、または同テーマ研究の反復検証やその一部分を構成するものとして、新たな知見を提出していることが確認できるか。

2. 論文の構成および論述について

- (1) 論文の内容はテーマに沿って論理的に構成されているか。
- (2) 論述は論理的で、自己の立場と他者の立場が明確に示されているか。

3. 方法について

- (1) 自己の立場あるいは論述内容を実証的に裏づける方法に一貫性があるか。
特に言語テキストまたは映像を論ずる場合、その客観的な論述についての方法的考察が含まれているか。
- (2) 論文中で言及する歴史的資料あるいはテキスト等については、学問的手続きを経て確立された信憑性の高いものであるか。
- (3) アンケートや聞き書きなど倫理的な問題を含む研究の場合、適切な対処がなされているか。

4. フォーマットについて

- (1) 論文構成、注釈、書誌情報などの体裁は各学問分野で確立されているガイドラインに沿ったものとなっているか。
- (2) 図版やテキスト資料、あるいは表を論文に含む場合、本文を説明するものとして適切に提示されているか。

口頭試問

提出された論文は主指導教員、副指導教員2名による「口頭試問」に合格しなければならない。

「口頭試問」では、次のことが検証される。

1. 論文のテーマ、目的、結論、方法などについて口頭で説明できるか。
2. 主指導教員、副指導教員による論文についての各種の質問に対して明確に回答が与えられ、論文の内容について適切な説明ができていないか。
3. 論文で得た成果をその後の研究と関連付けて説明できるか。

評価基準

上記「論文審査」4項目を審査後、「口頭試問」を行い、その結果を総合して次の評価が与えられる。

- | | |
|-------------------|-----------|
| (1) きわめて優れた研究 | 90点以上 |
| (2) 優れた研究 | 80点から89点 |
| (3) おおむね良好な研究 | 70点から79点 |
| (4) 一定の成果が認められる研究 | 60点から69点 |
| (5) 修士論文として不十分な研究 | 59点以下（不可） |

4. 資格の取得に関する科目について

本専攻において取得できる教育職員免許状の種類及び教科は次のとおりである。

研究科・専攻	免許状の種類	教科
人間文化研究科 応用英語専攻	中学校教諭専修免許状	英語
	高等学校教諭専修免許状	

〈教職課程履修方法〉（学則第40条関係）

- (1) 教育職員免許法第5条別表第1により専修免許状（英語）を取得しようとする者は、次表1のとおり必要な単位を修得しなければならない。ただし基礎資格として修士の学位を有することが必要である。
- (2) 前項により専修免許状を取得しようとする者は、当該校種の一種免許状を有する者（免許状授与に係る必要単位をすべて修得済みの者を含む）でなければならない。
- (3) 履修にあたっては事前に履修指導を受けること。

【2021年度以後入学者に適用】

表 1

免許法施行規則に定める科目区分	授 業 科 目	単位数		備 考
		中学校	高等学校	
大学が独自に設定する科目	◇応用言語学	2	2	24単位選択
	◇第二言語習得	2	2	
	○アカデミックリーディング&ライティング	2	2	
	◇日英語比較分析 a	2	2	
	◇日英語比較分析 b	2	2	
	バイリンガリズム	2	2	
	英米文学作品研究 a	2	2	
	英米文学作品研究 b	2	2	
	言語コミュニケーション	2	2	
	○英語プレゼンテーション	2	2	
	言語研究デザインと統計	2	2	
	○専門演習	2	2	
	◇英語教育学特論Ⅰ (Language Pedagogy)	2	2	
	◇英語教育学特論Ⅱ (Assessment and Testing)	2	2	
	◇英語教育学特論Ⅲ (Classroom Research)	2	2	
	◇英語教育学特論Ⅳ (Curriculum Design)	2	2	
	比較教育学特論	2	2	
	比較教育学演習	2	2	

(備考)

- 印は必修科目を示す。
- ◇印の科目計12単位以上を含めて修得した者は、申請により、教育職員免許法施行規則第72条第2項に規定する特定分野名として「英語教育」を免許状に記載することができる。

5. 登録について

- 登録手続きは、4月学年始めの履修登録オリエンテーション後、指定の期日までにWEB登録するとともに、各自の受講科目一覧表・受講時間表等を提出することによって完了する。ただし、「専門演習」については9月（修士課程1年）に、「インディペンデントスタディーズ」については4月（修士課程2年）に登録書を指定期日までに学事課へ提出すること。
- 登録は、本人が責任を持って行うこと。

6. 留意事項

- 登録していない科目は履修（単位修得）できないので注意すること。
- 修了に必要な科目・単位を確保するように努めること。
- 必修科目の単位を修得できなかった場合、当該科目を再履修しなければならない。
- 同一番号の科目は、重複履修しても最初履修して合格した1科目の単位しか認められない。年度によって担当者・講義内容が異なる場合でも同一番号の科目は同様の扱いとなるので注意すること。
- 二重登録は禁止する。同一講時に履修できるのは1科目のみで、2科目以上を登録することはできないので注意すること。
- 登録書類の作成要領は登録時に説明されるが、各科目の内容については登録日までに講義概要（シラバス）を熟読しておくこと。
- 時間割は、学生の個人的事情で変更されることはない。したがって履修科目の組み合わせに留意して計画をたてること。

7. 掲示および学生ポータルサイトによる通知・連絡について

時間割の変更、休講、補講、教室の変更、試験日程などの授業関係及びその他の通知・連絡は掲示または学生ポータルサイト（UNIPA又はmanaba）で行う。登校・下校の際は必ず掲示板に注意するとともに、定期的にポータルサイトをチェックすること。また、ポータルサイトについては、各自4月中にサイト内の個人ポータル画面からメール転送設定を行うこと。

(2) 2024年度開講科目表
人間文化研究科 応用英語専攻

【2021年度以後入学者用】

科目 コード	授業科目	期間	単位	必修	配当 学年	担当者	備考
【基礎科目】							
210020	応用英語研究方法論	前期	2	○	1	専任教員	(統括) 田口茂樹
210016	英語プレゼンテーション	前期	2	○	1・2	York Weatherford	
210019	アカデミックリーディング&ライティング	後期	2	○	1	Steven Herder	
【専門科目】							
210047	言語研究デザインと統計	前期	2		1・2	小山哲春	
210013	応用言語学	前期	2		1・2	喜多容子	
210232	第二言語習得	前期	2		1・2	鬼田崇作	
210233	バイリンガリズム	半年	2		1・2		本年度休講(隔年開講1)
210234	英語教育学特論Ⅰ (Language Pedagogy)	前期 集中	2		1・2	鬼田崇作	(隔年開講2)
210235	英語教育学特論Ⅱ (Assessment and Testing)	半年	2		1・2		本年度休講(隔年開講1)
210236	英語教育学特論Ⅲ (Classroom Research)	後期	2		1・2	東郷多津	
210237	英語教育学特論Ⅳ (Curriculum Design)	後期	2		1・2	鬼田崇作	
210238	早期英語教育	後期	2		1・2	喜田容子	(隔年開講2)
210241	英米文学作品研究a	半年	2		1・2		本年度休講(隔年開講1)
210242	英米文学作品研究b	半年	2		1・2		本年度休講(隔年開講1)
210243	英米文学作品研究c	前期	2		1・2	大川淳	(隔年開講2)
210244	英米文学作品研究d	前期	2		1・2	Lyle De Souza	(隔年開講2)
210245	英米文学批評理論	半年	2		1・2		本年度休講(隔年開講1)
210246	映像芸術	後期	2		1・2	須川いづみ	(隔年開講2)
210251	日英語比較分析a	後期	2		1・2	瀧田健介	
210252	日英語比較分析b	前期	2		1・2	田口茂樹	
210253	言語コミュニケーション	半年	2		1・2		本年度休講
210254	言語と社会	後期	2		1・2	川上伊都子	
【演習科目】							
210091	専門演習	後期 集中	2	○	1	大川淳 東郷多津 York Weatherford Steven Herder Lyle De Souza 田口茂樹 喜多容子	
210092	インターンシップ	集中	2		1・2		本年度休講
【研究指導科目】							
210101	インディペンデントスタディーズ	集中	8	○	2	専任教員	

科目名英訳対照表

【応用英語専攻科目英訳】

応用英語専攻 Applied English and Intercultural Studies

科 目 名	英 訳
応 用 英 語 研 究 方 法 論	Research Methods
英 語 プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン	Presentation in English
アカデミックリーディング&ライティング	Academic Reading and Writing
言 語 研 究 デ ザ イ ン と 統 計	Design and Statistical Analysis for Language Research
応 用 言 語 学	Applied Linguistics
第 二 言 語 習 得	Second Language Acquisition
バ イ リ ン ガ リ ズ ム	Studies in Bilingualism
英語教育学特論Ⅰ（Language Pedagogy）	English Education I（Language Pedagogy）
英語教育学特論Ⅱ（Assessment and Testing）	English Education II（Assessment and Testing）
英語教育学特論Ⅲ（Classroom Research）	English Education III（Classroom Design）
英語教育学特論Ⅳ（Curriculum Design）	English Education IV（Curriculum Design）
早 期 英 語 教 育	Early English Education
英 米 文 学 作 品 研 究 a	Literary Analysis of American and English Literature a
英 米 文 学 作 品 研 究 b	Literary Analysis of American and English Literature b
英 米 文 学 作 品 研 究 c	Literary Analysis of American and English Literature c
英 米 文 学 作 品 研 究 d	Literary Analysis of American and English Literature d
英 米 文 学 批 評 理 論	English and American Literary Criticism
映 像 芸 術	Literary Cinematics
日 英 語 比 較 分 析 a	Comparative Analysis of Japanese and English Linguistics a
日 英 語 比 較 分 析 b	Comparative Analysis of Japanese and English Linguistics b
言 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	Language and Communication
言 語 と 社 会	Language and Society
専 門 演 習	Graduate Seminar
イ ン タ ー ン シ ッ プ	Internship
インディペンデントスタディーズ	Independent Studies